

木村舗装株式会社

2023年度

環境経営レポート

(対象期間:2023年5月1日~2024年4月30日)



®環境省

エコアクション21
認証番号 0005422

発行日:2024年5月15日

発行責任者:野村孝広

1 組織の概要

事業者名及び代表者名

木村舗装株式会社
代表取締役 木村 毅

所在地

本社 〒520-3221 滋賀県湖南市三雲126-1
甲賀営業所 〒528-0015 滋賀県甲賀市水口町酒人90-1

環境保全関係の責任者及び担当者連絡先(電話番号等)

環境管理責任者 工事部:野村孝広
連絡先: 090-2287-1359

工事部責任者 工事部長:野村 孝広
連絡先: 090-2287-1359

総務部責任者 総務部:木村 みわ
連絡先: 090-7482-5028

事業活動の内容(認証・登録範囲)

建設工事業(土木、とび・土工、舗装、水道施設)

事業の規模

売上高 383 百万円/2023年
工事件数 171 件/2023年
全従業員 9 名

事業組織

面積:m ²	本社	甲賀営業所
事務所床面積	164	45
倉庫床面積	252	0
車庫面積	278	0
資機材置場面積	1,884	0
従業員 名	8	2
認証・登録	○	○

過去3年間の環境負荷の実績

	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素の排出量	kg-CO ₂	214,285	212,782	217,610
二酸化炭素排出量原単位	kg-CO ₂ /百万円	477	546	568
廃棄物の排出量	t	837	572	89
水の使用量、排水量	m ³	413	416	414

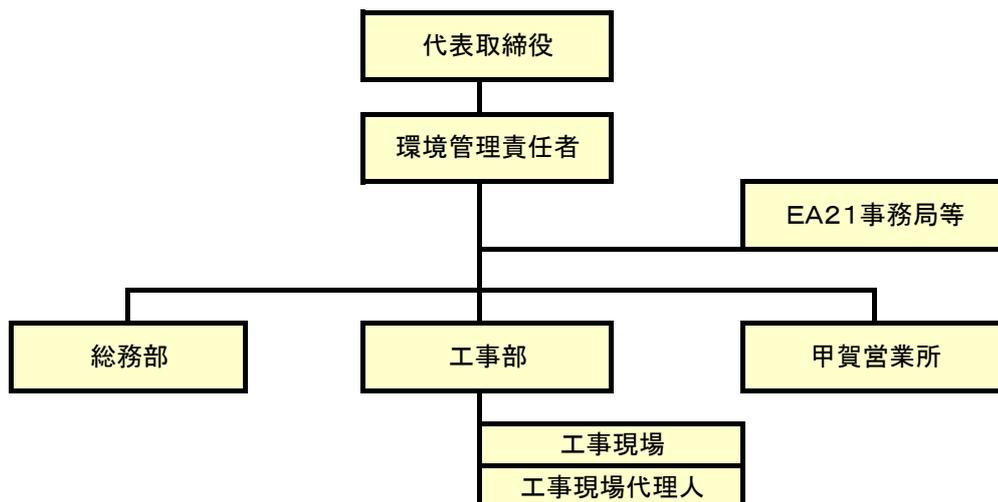
* 環境活動期間は5月1日から翌年4月30日です

* 関西電力の調整後排出係数は2017年度の0.418kg-CO₂を3ヶ年間固定します

* 化学物質の取り扱いはありません

2 環境経営組織図及び役割、責任、権限表

EA21実施体制組織図



※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境経営方針の下、環境経営目標の達成に向けて、環境経営計画に基づき、一致協力して環境取組を

役割、責任及び権限一覧

担当	内容
代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。 ②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。) ③環境管理責任者を任命する。 ④環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。 ⑤代表者による全体の評価と見直しを実施する。
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。 ②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。 ③法規制等の遵守状況をチェックする。 ④環境経営方針及び自己チェック等に基づき環境経営目標を設定し、作成された環境経営計画を確認し承認する。 ⑤環境活動の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況を評価する。 ⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。 ⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告する。 ⑧EA21に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長及び 工事現場代理人	①責任範囲の環境経営目標及び環境経営計画の実施とEA21事務局への達成状況の報告。 ②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
EA21事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。 ②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。 ③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。 ④環境経営計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。 ⑤文書及び記録の管理保管。 ⑥外部コミュニケーションの窓口。 ⑦内部コミュニケーションの運営管理。 ⑧従業員に対する教育訓練の実施。 ⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。 ⑩環境経営レポートを作成する。
全従業員	①環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

木村舗装株式会社

環境経営方針

<環境理念>

当社は滋賀県内で舗装工事を主体とした建設工事を行っています。環境経営システムを構築・運用することで社内全員が環境問題に取り組みをし、環境負荷低減を目指してエコ活動していきます。

<環境保全への行動指針>

環境への取組を進めるため、以下の事項に取組んでいきます。

1. 当社が守らなければならない環境関連法規や条例等を明らかにし、これを厳守します。
2. 環境経営目標を定め、継続的改善を行います。
3. 事業活動に伴う環境影響を低減するため、以下の活動を実施します。

①建設現場ではガソリン・軽油・LPGを、事務所では電気・灯油を削減して、二酸化炭素の排出量を低減します。

②建設廃棄物は分別を徹底して、建設リサイクルを推進します。

③事務所及び建設現場の水使用量を削減し、建設現場では汚濁水防止に努めます。

④環境に配慮した低騒音・低振動型重機や排ガス規制適合車の使用に努めます。

⑤地域の環境美化活動に積極的に参加します。

4. 全従業員にこの環境経営方針を周知させます。

制定日：2011年9月1日

改訂日：2013年6月1日

改訂日：2017年6月1日

改訂日：2019年5月1日

代表取締役社長

木村 毅

3 環境経営目標とその実績

2019年度の実績を自己チェックにより把握し、その結果を基準値として、2023年度から2025年度までの目標を下記の通り設定し、環境活動に取り組んでいます。尚、このレポートでは、2023年5月1日から2024年4月30日までの運用実績について取りまとめました。

環境経営方針	取組項目	年度 単位	次年度				中長期	
			2019年	2023年度 取組年 2023年5月～2024年4月		2024年	2025年	
			(基準年)	(目標)	(実績) 削減率は基準年比	(目標)	(目標)	
①建設現場ではガソリン・軽油・LPGを、事務所では電気・灯油を削減して、二酸化炭素の排出量を低減します。	電力使用量の削減 (単位：kWh)	%	100%	96%	99.2%	95%	94%	
		使用量	21,795	21,586	21,615	21,588	21,590	
		(kg-CO ₂)	9,110	9,023	9,035	9,024	9,025	
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	%	100%	96%	113.2%	95%	94%	
		使用量	4,963	4,915	5,617	4,916	4,916	
		(kg-CO ₂)	11,514	11,404	13,031	11,405	11,406	
	軽油使用量の削減 (単位：L) 建設現場	%	100%	96%	96.8%	95%	94%	
		使用量	39,376	38,998	38,105	39,002	39,006	
		(kg-CO ₂)	101,590	100,615	98,311	100,625	100,635	
	灯油使用量の削減 (単位：L) 事務所	%	100%	96%	94.1%	95%	94%	
		使用量	1,733	1,716.4	1,630	1,717	1,717	
		(kg-CO ₂)	4,315	4,274	4,059	4,274	4,275	
	LPG使用量の削減 (単位：kg) 建設現場	%	100%	96%	121.3%	95%	94%	
		使用量	25,600	25,354	31,058	25,357	25,359	
(kg-CO ₂)		76,800	76,063	93,174	76,070	76,078		
二酸化炭素排出量の削減		%	100%	96%	107.0%	95%	94%	
		(kg-CO ₂)	203,330	201,378	217,610	201,398	201,418	
二酸化炭素排出量売上百万円当り原単位削減		%	-	-	107.0%	98%	97%	
		CO ₂ /百万円	531	-	568	-	-	
②建設廃棄物は分別を徹底して、建設リサイクルを推進します。	分別及び建設リサイクルの推進 (単位：%) 建設現場	%	-	-	100.0%	-	-	
		(%/年)	100%	80%	100%	80%	80%	
③事務所及び建設現場の水使用量を削減し、建設現場では汚濁水防止に努めます。	事業所利用水の節水 (単位：m ³)	%	100%	96%	99.8%	95%	94%	
		m ³	415	411	414	411	411	
	オイル吸着材の設置と監視など適正管理 (単位：%) 建設現場	%	-	-	100%	-	-	
		%	100	100	100	100	100	
④環境に配慮した低騒音・低振動型重機や排ガス規制適合車の使用に努めます。	環境配慮施工の推進 (単位：%) 建設現場	%	-	-	100%	-	-	
		%	100	100	100	100	100	
⑤地域の環境美化活動に積極的に参加します。	地域の美化活動に参加する (単位：回)	%	-	-	100%	-	-	
		回	12	12	12	12	12	

目標の説明や補足事項

- 購入電力の調整後排出係数は、関西電力の2017年度の0.418kg-CO₂/kwhを3ヶ年間固定する(基準年も同様)
- 廃棄物排出量は、事業活動からの廃棄物に対して総排出量で把握し、建設リサイクル率に取り組む
- 水使用量については、事務所敷地内における水使用量の削減について実施する。また建設現場からの汚水・濁水防止監視を実施する
- 化学物質の取扱いは無いので、目標に掲げない
- 環境配慮施工では、低騒音・低振動型重機、排ガス規制適合車等の環境配慮車輛を使用する
- 社会貢献活動は淡海エコフオスター活動に参加し実施する
- 上記の目標のほか、作業場の環境及び品質安全向上のために3S活動(整理、整頓、清掃)に取り組む

4 環境経営計画

環境経営方針	取組項目	環境経営計画の内容	責任部門・担当者
①建設現場ではガソリン・軽油・LPGを、事務所では電気・灯油を削減して、二酸化炭素の排出量を低減します。	電力使用量の削減 (単位：kWh)	① 不用時の消灯 ② 機械設備・OA機器などのスイッチオフ ③ エアコンの温度管理（夏季28℃±1℃）	事務部 木村 みわ
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	① 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認 ② 暖機運転・アイドリングストップ ③ エコドライブの励行 ④ 建設重機の環境に配慮した稼働	工務部 野村 孝広
	軽油使用量の削減 (単位：L) 建設現場		
	灯油使用量の削減 (単位：L) 事務所		
LPG使用量の削減 (単位：kg) 建設現場			
②建設廃棄物は分別を徹底して、建設リサイクルを推進します。	分別及び建設リサイクルの推進 (単位：%) 建設現場	廃棄物 ① 廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する。 ② 無駄な資機材を購入しない。 ③ 使用済みコピー用紙を再利用する。	工務部野村 孝広
③事務所及び建設現場の水使用量を削減し、建設現場では汚濁水防止に努めます。	事業所利用水の節水 (単位：m ³)	① 洗車の水使用量を減らす。 ② 水を流しながらの洗い物はしない。	工務部野村 孝広
	オイル吸着材の設置と監視など適正管理 (単位：%) 建設現場	① 濁水防止の適正監視する	工務部野村 孝広
④環境に配慮した低騒音・低振動型重機や排ガス規制適合車の使用に努めます。	環境配慮施工の推進 (単位：%) 建設現場	① 環境配慮施工の維持 ② 低騒音・低振動型重機の使用 ③ 排ガス規制適合車の使用	工務部野村 孝広
⑤地域の環境美化活動に積極的に参加します。	%	① 地域の清掃活動に参加する。	営業部木村 毅

取組の紹介

- 1 淡海エコフオスター活動とは、滋賀県と協定を結びボランティアで行う地域の清掃活動です。
- 2 滋賀県建設業協会主催の地域貢献による清掃・草刈活動に意欲的に参加する。

5 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

環境経営方針	取組項目	年度	2023年度 取組年 2023年5月～2024年4月		取組の評価	担当責任者
			(目標)	(実績) 削減率は基準 年比		
①建設現場ではガソリン・軽油・LPGを、事務所では電気・灯油を削減して、二酸化炭素の排出量を低減します。	電力使用量の削減 (単位：kWh)	%	96%	99.2%	夏季のエアコンはコロナ予防しながら使用している	事務部 木村 みわ
		使用量	21,586	21,615		
		(kg-CO ₂)	9,023	9,035		
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	%	96%	113.2%	車両、重機の不要時はアイドリングストップに心がけている。	工事部 野村 孝広
		使用量	4,915	5,617		
		(kg-CO ₂)	11,404	13,031		
	軽油使用量の削減 (単位：L) 建設現場	%	96%	96.8%		
		使用量	38,998	38,105		
		(kg-CO ₂)	100,615	98,311		
	灯油使用量の削減 (単位：L) 事務所	%	96%	94.1%		
		使用量	1,716	1,630		
		(kg-CO ₂)	4,274	4,059		
LPG使用量の削減 (単位：kg) 建設現場	%	96%	121.3%			
	使用量	25,354	31,058			
	(kg-CO ₂)	76,063	93,174			
二酸化炭素排出量の削減		%	96%	107.0%		
		(kg-CO ₂)	201,378	217,610		
二酸化炭素排出量売上百万円当り原単位削減		%	99%	107.0%		
		CO ₂ /百万円	0	568		
②建設廃棄物は分別を徹底して、建設リサイクルを推進します。	分別及び建設リサイクルの推進 (単位：%) 建設現場	%	-	100.0%	廃棄物の分別・リユース・リサイクルを徹底した	工事部 野村 孝広
		(%/年)	95%	100%		
③事務所及び建設現場の水使用量を削減し、建設現場では汚濁水防止に努めます。	事業所利用水の節水 (単位：m ³)	%	96%	99.8%	洗車の使用は、雨水タンクの水を何回か使用していた。	工事部 野村 孝広
		m ³	411	414		
	オイル吸着材の設置と監視など適正管理 (単位：%) 建設現場	%	-	100%	濁水防止につとめた	工事部 野村 孝広
④環境に配慮した低騒音・低振動型重機や排ガス規制適合車の使用に努めます。	環境配慮施工の推進 (単位：%) 建設現場	%	-	100%	低騒音・低振動型重機、排ガス規制適合車を使用した	工事部 野村 孝広
		%	100	100		
⑤地域の環境美化活動に積極的に参加します。	%	#REF!	-	100%	毎月清掃活動に参加し目標達成できた	営業部 木村 毅
	回	12	12			

今年度の主な環境経営計画の実績・取組結果の内容

- 1 二酸化炭素排出量削減取り組みでは、アイドリングストップやエコドライブ、重機の効率的な稼働等の目標達成手段を実施した
- 2 廃棄物は総量を把握し、分別を実施して削減及び建設リサイクルに努めた
- 3 水使用量の削減では車輛の洗車の使用量削減や流し放しで使用しないように努めた。また建設現場では濁水防止監視を実施した
- 4 環境配慮施工でな低騒音・低振動型重機や排ガス規制適合車を使用した
- 5 環境美化活動は計画通り美化活動に参加した

次年度の主な環境経営計画の内容

- 1 二酸化炭素排出量削減取り組みでは、アイドリングストップやエコドライブ、重機の効率的な稼働等の目標達成手段を実施する
- 2 廃棄物は総量で把握し、分別を実施して削減及び建設リサイクルに努める
- 3 水使用量の削減では車輛の洗車の使用量削減や流し放しで使用しないように努める。また建設現場では濁水防止監視を実施する
- 4 環境美化活動は計画通り淡海エコフオー活動に参加する
- 5 環境経営目標の達成取組と共に、作業場の環境及び品質安全向上のために3S活動（整理、整頓、清掃）に取組み、意識を持って全員で実践する

6 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	適正処理
自動車リサイクル法	廃自動車のリサイクル券	遵守
家電リサイクル法	家電リサイクル券	遵守
騒音規制法	対象特定施設の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の定期点検、引渡し	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	適正処理

注：適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載します。

7 代表者による全体の評価と見直し・指示

現場の状況によって、二酸化炭素排出量が増減するのは仕方がないと思われるが、現場内においてアイドルストップ、エコモードによる作業など環境に配慮した施工を実施していただきたい。従業員全員で環境への取り組みは行われており、環境経営方針、環境経営目標・取組及び実施体制は変更せず継続して下さい。